

議会だより

しほ和ま

平成25年 第1回芝山町議会定例会

提出議案	2～4
一般質問(7名)	5～11
常任委員会	12
予算審査特別委員会	13
全員協議会他	14
街角ひろば	15
活動報告	16

25年度 予算の可決

一般会計予算

前年度比3.8%（1億7千4百万円）の増額

47億4400万円

（町民1人あたり61万円の予算）4/1現在人口7928人（外国人を含む）

■ 証明書コンビニ交付サービス事業関係	⇒	2170万円
■ 三世代同居等支援助成金	⇒	320万円
■ ふれあいバス運行委託料	⇒	1849万円
■ あいあいタクシー業務委託料	⇒	1559万円
■ 子ども医療給付事業	⇒	1932万円
■ 保育所給食供給業務委託料	⇒	1595万円

少子高齢化対策

新規事業 証明書コンビニ交付サービス事業

コンビニ交付サービスとは

※住基カードを利用して住民票の写し・印鑑登録証明書を夜間や休日でもコンビニエンスストアで取得できるようになります。



保育所入所式

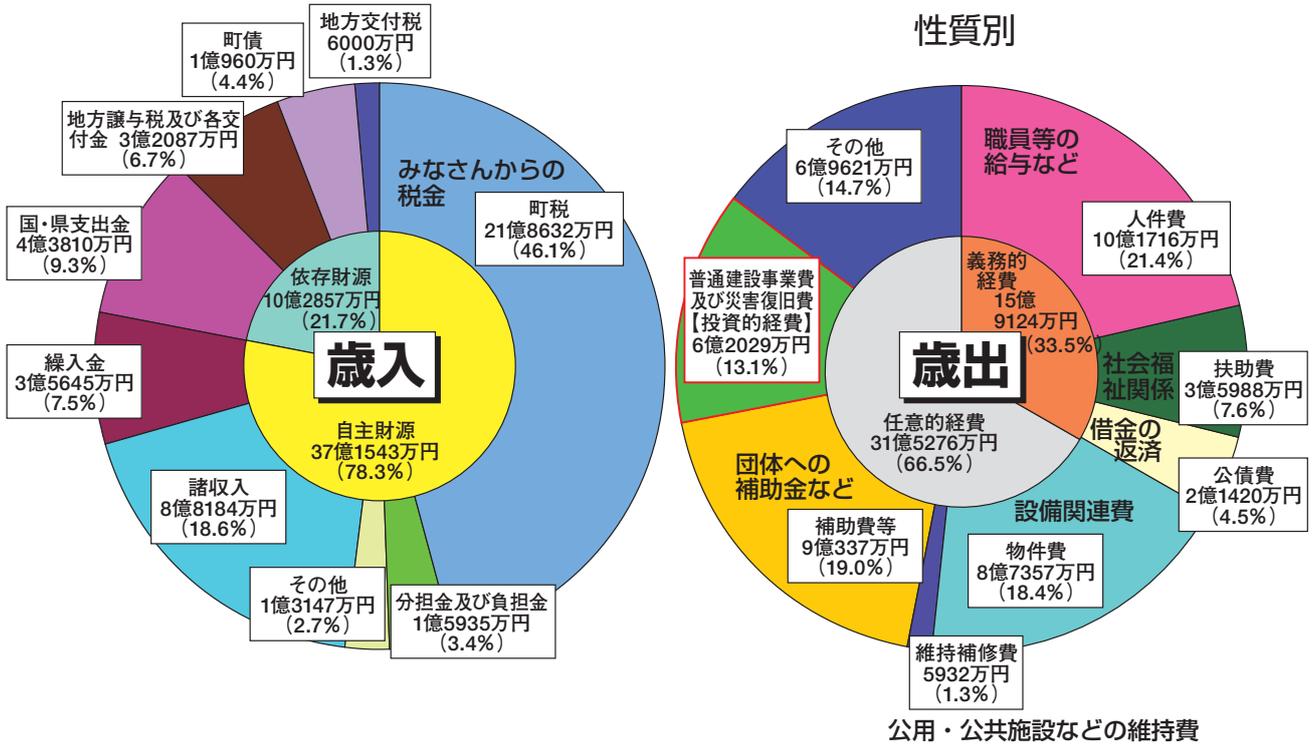
※1 施政方針=政治を行うときの方向。政治の目的・方法・理念など。

※2 予算審査特別委員会=新年度予算を審議するため、議会の議決によって設置される委員会。

本町議会の場合、3月議会の会期中に設置され、全議員(14人)で構成される。

3月定例会
3月定例会は、3月11日から3月22日までの12日間の会期で開かれました。
定例会の初日には、相川勝重町長が所信表明並びに25年度施政方針演説^{※1}を行い、芝山町に住むことに誇りと自信が持てるまちづくり・地域づくりを目指し、「子育てを応援し豊かに生活できる高齢者が元気なまちづくり」と「農業を起点とした食のまちづくり」等の目標を掲げ、町政の基本的な考え方を表明しました。
一般質問には、7人の議員が登壇し、空港・子育て支援・農業・道路・教育・人口問題など、活発な論戦を展開しました。
また、予算審査特別委員会^{※2}により25年度一般会計と特別会計、各常任委員会で条例改正や24年度補正予算を審査、追加議案を含む26議案すべて原案のとおり可決しました。

一般会計予算の内訳



25年度 予算総額 **69億6843万円**
(前年度比4.7%増)

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	農業集落排水事業	公共下水道事業	介護保険	後期高齢者療養
予算額	47億4400万円	22億2443万円	10億6881万円	6778万円	4億5537万円	5億6166万円	7081万円
前年度比	3.8%増	6.7%増	2.2%増	9.7%減	8.9%増	18.4%増	0.7%減

24年度3月補正予算

おもな内容

一般会計歳出

- 基金積立金（財政調整基金等） 2億4079万円
- 航空機騒音対策関係補助金等 △4320万円
- 道路維持費（小池・山田2路線舗装補修工事関係） 2880万円
- 道路新設改良費（山中東、空港南側道路関係） △4233万円
- 文化センター空調機器改修工事費 3969万円

議会人事

第1回定例会（3月22日）



石田 謙一 議長



戸井 沢夫 副議長

○議長の選挙 石田 謙一 議員が議長に当選

○副議長の選挙 戸井 沢夫 議員が副議長に当選

○総務・まちづくり常任委員会の委員及び正副委員長の互選

総務常任委員会

・伊橋 寿夫 委員長 ・小嶋 秀樹 副委員長 ・内田 白民 委員 ・石田 謙一 委員
・小川 宏治 委員 ・木内 正光 委員 ・麻生 孝之 委員

まちづくり常任委員会

・堀越 保夫 委員長 ・伊藤 栄 副委員長 ・川口 幸雄 委員 ・平山 弘 委員
・戸井 沢夫 委員 ・萩原 正規 委員 ・岩澤 達弥 委員

○議会運営委員会委員の選任

委員長（戸井 沢夫 副議長）、副委員長（伊橋 寿夫 総務常任委員長）、
各常任委員会正副委員長及び議長が委員

○委員会委員及び各種団体委員の選任

空港対策委員会

・平山 弘 委員長 ・内田 白民 副委員長 ・小川 宏治 委員 ・小嶋 秀樹 委員
・伊橋 寿夫 委員 ・伊藤 栄 委員 ・岩澤 達弥 委員

芝山鉄道延伸委員会

・川口 幸雄 委員長 ・萩原 正規 副委員長 ・石田 謙一 委員 ・戸井 沢夫 委員
・堀越 保夫 委員 ・木内 正光 委員 ・麻生 孝之 委員

議会だより編集委員会

・萩原 正規 委員長 ・岩澤 達弥 副委員長 ・堀越 保夫 委員 ・木内 正光 委員
・伊藤 栄 委員 ・麻生 孝之 委員

芝山町監査委員 ・平山 弘 議員

芝山町国民健康保険運営委員会委員 ・小川 宏治 議員 ・戸井 沢夫 議員
・麻生 孝之 議員

芝山町学校給食センター運営委員会委員 ・内田 白民 議員 ・小嶋 秀樹 議員

山武郡市広域行政組合議会議員 ・石田 謙一 議員 ・伊橋 寿夫 議員

山武郡市環境衛生組合議会議員 ・堀越 保夫 議員 ・岩澤 達弥 議員

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員 ・石田 謙一 議員



岩澤 達弥 議員

芝山千代田 駅前を市街 化区域に

問 駅前を中心に、は市街化区域に指定しては。空港会社には職員向けの戸建て住宅や寮を建設して職員の皆様に住んでいただきたい。そして、毎朝毎晩騒音実体験をしてほしい。行政は市街化区域の網を掛け開発を誘導することが責務だと考えるが。

答 【町長】町総合計画の臨空の町づくりで拠点整備の位置づけがされている。道路、

公共下水道等を整備し民間開発など誘導して推進していきたい。大網白里市の都市計画が参考になり、職員を派遣し具体的な整備手法を研修しています。

問 芝山の都市計画ですから

芝山に何が必要か何を優先か協議して千葉県に決定してもらおうべきと思うが。

答 【町長】はにわ

道3期の空港側は、都市計画が事業認定か地



籍調査が十分に検討しなければなりません。

問 市街化区域の指定は、乱開発も防げ、宅造や住宅を促進するための手法の一つだと思いますが。

答 【町長】プロジェクトチームをつくり地域にとつて何がいいのか再点検させ、早急に開発保全できるシステムをつくってきたい。

小池の都市 計画道路

問 都市計画決定後、既に12年が経過。小池橋―田向線、小池

―井戸作線は、小池区ひいては芝山の発展に欠かせない道路だと考えるが。

答 【町長】小池橋―田向線は延長1600m幅員14m

の都市計画道路で事業主体は千葉県ですが、現在進捗はない。小池―井戸作線は、延長970m幅員14mで事業主体は未定。



問 平成13年に都市計画決定し、この

道路をつくると決めた訳ですから、小池橋―田向線は再三にわたり千葉県に要望等を続け、いち早く完成させるべき。小池―井戸作線の担当課はどのなのか。

答 【町長】小池―井戸作線は皆無、見直しも必要と思っている。

問 都市計画決定した道路を見直ししようとは非常に残念。町民はどう思いますか。

答 【町長】費用対効果も含め、経済情勢が逼迫している中、数億円が必要になるので研究させていた

問 選挙公約だから投入した空港南側道路

は。芝山都市計画は、真に芝山の発展に何が必要か何をすべきか計画的に進めるものであってほしいと願っております。



小嶋 秀樹 議員

高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画について

問 老人クラブ・シルバー人材センター等への加入者の減少により、高齢者の地域活動への参画意識が低下しているように思える。これを改善する支援・啓発をどのようにしていくのか。

答 【町長】老人クラブの加入者は減少、シルバー人材センター登録者は横ばい状態です。老人クラブ22支部に加入者増の取り組みをお願いしています。シルバーは良好な経営を維持していま

すが、さらなる登録者を増やすために町からの事業委託を増やしていきます。

問 地域支援事業の中で、第5期から新設された「介護予防・日常生活支援総合事業」の現況は。

答 【町長】町内に総合的サービスを提供できる事業者がいまないので、実施は出来ません。

問 今後増加が予想される認知症の対策として、現在どんな施策を実施しているか。

また、その成果は。

答 【町長】認知症への正しい理解と地域で見守る支援者の育成を目指し、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。しかし、参加者が少なく成果は上がっていません。

問 介護予防の効果を上げるためには、自助・互助・公助が重要としているが、それを担う地域包括支援センター・社会福祉協議会・介護保険推進委員会、それぞれのよう

に連携して福祉業務を進めているのか。

答 【町長】ヘルパー派遣は社協に委託しています。その申請を支援センターで受け付け、同行訪問して共に実態調査をしています。独居高齢者の情報交換は常時行い、連携を密にしています。こうした活動状況を推進委員会において報告しています。

問 家族介護福祉手当の給付要件の緩和、支給の増額を考えているか。

答 【町長】居宅の介護を受けている介護度4・5の方に月1万円、介護度3以上の方に月5千円を支給しています。今のところ要件の緩和や増額は考えていません。

問 今後、予防給付サービスの利用が増加し、利用ニーズの多様化も予想されます。現況に加えて新しい

サービスを実施する計画はあるか。

答 【町長】第5期における制度改正で24時間対応の定期巡回、随時対応型サービスなどの施策が新たに創設されました。しかし、これに対応できる事業者がいまありません。

問 認知症対応型通所介護、認知症対応形共同生活介護、それぞれどんな事業を行っているのか。

答 【町長】認知症の通所介護



【町長】認知症の通所介護は行っていません。共同生活介護施設として「芝山なのはな」が開設されました。

問 高齢者に制度やサービス内容を情報提供することは、社会参加の機会拡大や孤立の防止のために重要です。広報(活字)ホームページ(パソコン)では不十分ではないか。

答 【町長】私も難しいと思います。日々の家庭訪問、老人クラブの学習会や生きがい学級などの機会を活用して、更なる周知拡大を図っていきます。





伊橋 寿夫 議員

空港関係

成田空港運用時間緩和について

問 町民からのデメリット（反対意見）に対して、今後の対応は。

成田空港の離発着制限の運用時間は原則として朝6時から夜11時までとされており、今回この運用時間の弾力的運用案に関する住民説明会が町内7か所において開催されました。各所で説明を受けた町民からは弾力的運用案に対し直接的な反

対意見、また反対につながるような意見もありました。今後これらの反対意見に対し、また具体的な騒音に悩まされている住民に対して

具体的な対応策など、新しい取組などあればお伺いをします。

答 【町長】 町民説明会での意見や国が示した内容についても、この会期中に議会でも十分な議論をしていただき、町として受け入れるかどうかを判断していきたいと考えます。

また、この問題については芝山町だけでなく成田市をはじめ空港圏の各市町で検討協

を重ねており、十分連絡をとりながら、最終的には空港圏として判断していくかたちになると思います。

問 NAAからの提案である罰金というペナルティだけでなく、町として独自に提案、提案すべきではないのか。

飛行回数30万回に向けての町民との約束事項である、環境対策・地域共生策の事業が未だ途中、運用時間緩和による新たな騒音問題について、現在の提案だけでは住民の充分な理解を得る事は容易ではないと思います。

町、独自としても騒音下の住民が理不尽さ

を感じさせないよう環境対策と騒音の対価を求めべきでないのか。

答 【町長】 今回のペナルティーと飛行回数30万回に向けた対策は別問題と切り離して考えなければならな

飛行回数30万回迄の環境対策、地域共生策の進捗状況について

問 防音工事の恒久化について。防音工事の恒久化は、住宅用の防音工事を始め各種施設の防音工事を恒久的に実現可能とする制度とされており。

今後、20年間の防音工事の事業量、スケジュール、事業費など具体的に関係機関で協議し平成22年度内に取りまとめるとされてお

ります。しかしながら現在で

いと認識しています。具体的には、まだこの場で報告はできませんが、日程を決め議員の方々と相談させていただき、議会と良く相談したうえで結論を出させて頂きます。

も明示されていない理由について具体的な回答を伺います。

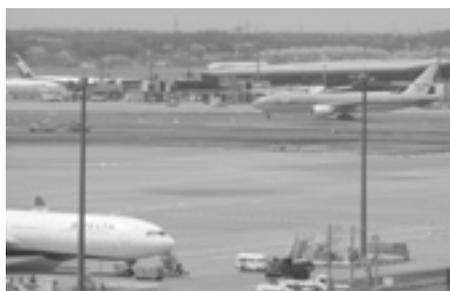
答 【町長】 防音工事の恒久化は、地域と空港の共生・共栄を図る上で必要不可欠な制度であります。今までの共生財団も公益財団法人へ移行し、併せて防音工事助成事業の恒久化をスタートしております。

制度を有効に活用して頂きたいと思っております。

問 今後20年を見据えた防音工事の対

象建物として住宅、学校、公民館、それらの建物も恒久化の対象として含まれる事ではないのか。

答 【町長】 住宅を最優先と考えます。他の建物の老朽化対策も考えておりますが、まだそこまで制度が整っていないが、おおよそ本年度の後半以降に事業スタートをするべく現在、制度設計をたてていますので今しばらくお待ちください。





堀越 保夫 議員

農業対策

問 農産物輸出に關する視察においての成果は。

答 【町長】いくつかの課題を解消すれば農産物輸出ビジネスの可能性が十分考えられるとの感触を得た。

問 その課題と今後、取り組むべきことは何か。

答 【町長】原発事故に伴う国産品の検査体制、安全性の確保によって一日も早く放射能問題を払拭すると共に高い農業技術を發揮していくことも必要。

問 道の駅や空の駅、そして今回の輸出に關することが農業対策と実感していない生産者が多いと思う。足を固める意味でも有利な方法で生産性、販売経路の確保を充実させるような施策を考へるべきと思う。

答 空港と芝山町の真の共栄は、どういうことだと考へるか。

問 【副町長】空港内の企業に芝山に根付いてもらい勤務者の住宅を誘致していただけると思う。また空港を利用する方々に芝山をアピールし、豊富な町内資源を国内外の方々に利用していただくのとどと考へる。



成田空港

問 空港と芝山町の真の共栄は、どういうことだと考へるか。

答 【副町長】空港内の企業に芝山に根付いてもらい勤務者の住宅を誘致していただけると思う。また空港を利用する方々に芝山をアピールし、豊富な町内資源を国内外の方々に利用していただくのとどと考へる。

問 アピールが足りないと思う。飛

躍的な情報発信、PRが必要だと思ふが。

答 【町長】キャラクタ―等も使い、ホームページや議員の方々からもアピールをお願いしたい。



しばっくん

新年度予算

問 各課、最優先と捉える施策は何か。

答 【福祉保健課長】福祉係では、障害者自立支援給付事業や老人保護措置費。子育て支援係では、児童手当、子供医療費給付事業。保健センターでは予防接種事業。

答 【まちづくり課長】安心なまちづくりを目指す中で、安全な

飲料水確保を図るための水、河川等の水質検査。

答 【町民税務課長】証明書類、住民票、印鑑証明、戸籍証明などのコンビニ交付事業。

答 【財政担当課長】年間のタイミングもあるが、第4次総合計画に基づく具体的な施策。

答 【税務担当課長】財源である税収確保のため税率の向上に努めたい。

問 コンビニ交付で必要になる住基カードの無料発行をお約束いただきたいが。

答 【町長】一定時期については無料にする。

どのような施策を第一に考へるか。

答 【福祉保健課長】福祉事業を充実させるために職員を増員したい。

答 【まちづくり課長】さらに美しい環境のまちづくりを進めたい。

答 【町民税務課長】コンビニでの証明書類の発行に加え、税務証明の発行も取り組みたい。

答 【財政担当課長】ふるさと基金は今年度取り崩すとゼロになる。借金も一般会計が27億、農排と公共下水で20億あり、今後に備えるために基金を積み立てたい。

最後に...

問 予算が潤沢にあったとしたならば、

答 【税務担当課長】税率を上げるための体制づくりをした



麻生 孝之 議員

人口問題

問 平成25年度、人口増・人口減少を食い止めるための取り組みについて。

答 【町長】 既存の事業としては、出産祝い金・給食費の減免制度などがあり、24年度制定した3世代同居支援事業については、24年度2名の交付決定者、25年度については9名の対象者があり、今後も積極的にPRを行い制度利用者を増やしていきたい。

問 町営住宅についてその後の考えは。

答 【町長】 25年度において、町営住宅の建設を検討していきたい。対応としては、住宅整備方針立案の基礎調査、また策定支援業務を実施する予定。調査内容は、町内・成田市三里塚周辺などの住宅の状況調査、また間取り等も含めどのような住宅を建設するのか、経営などについても専門家に検討してもらい方針を決定していきたい。

公共交通

問 空港南部地域公共交通総合連携協議の進捗状況と今後の展開について。

答 【企画政策担当課長】 平成21年3月

に設置し、ふれあいバスのルート変更、公共交通マップの作成、アンケートの実施など様々な事業に取り組み、その結果を踏まえ25年度からふれあいバスの運行時間を延長し、18時台に松尾駅に到着する電車の接続にあわせ、1便増やす予定でいる。また当初の予定期間を終了したことから、空港南部地域公共交通会議については、今年度で休止となり、25年度からは芝山町公共交通会議で、町の公共交通の運行改善、利用促進を図っていききたい。

問 町の西側地区に公共交通が不足していると思うが。

答 【企画政策担当課長】 南北にシャトルバスとふれあいバス、東西をあいあいタクシーがカバーする形で運行しており、町としてもさらに利用していただけるよう啓発に努めていきたい。また25年度から小学校統合準備委員会が設置され、スクールバスの運行に関する内容を、教育委員会とも協議することとなっております。町全体の公共交通とスクールバスを含めた交通体系を検討していきたい。

子育て支援について

問 児童クラブのあり方、理念について。

答 【町長】 児童の健全な育成を図ることを目的とし、児童クラブをより充実させるには人的環境をしつかりさせ、子供の生活における物的環境を整えることが不可欠である。次世代を生きる子供たちの健やかな成長が約束されることを確信し、保育・運営に力を注いでいきたい。

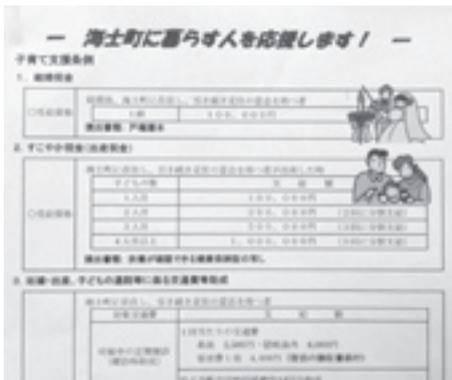
問 児童クラブのガイドラインや利用案内から逸脱した話ではあるが、子供を学童に入れてもらえるのであれば、経済的なことや将来の生活不安などから働きに出たいという声があるが。

答 【町長】 子供達に勉強しやすい環境、親御

さんが働きやすい環境をつくるのが町の責務だと思えます。しっかりと議論していきたい。

問 町には様々な子育てに係る施策があるが、それらをすべて含め、子育て支援条例を制定してみては。町のPRにも役立てると思うが。

答 【町長】 千葉県においても制定の考えがあるようなので、県の動向を注視しながら、町として必要かどうか検討してみたい。



島根県海士町子育て支援条例



木内 正光
議員

はにわ台団地に野菜の移動販売

問 道の駅風和里、空の駅風和里で販売している朝取れの野菜をはにわ台団地に移動販売をすることを有言実行で早く始めるべきと思うが。

答 【町長】 はにわ台団地に農産物などの移動販売について、風和里芝山による移動販売は株式会社風和里芝山でも調査、検討を今進めている所です。買い物に非常に困っている方々に大きく貢献していくと考え、しっかりと計画し、実行し



ていくことが、そして皆さんに喜んでいただく、地域の方々の安心を、また支える大きな施策の一つになるうかと思っておりますので移動販売を是非私は実現したい。

公共施設統合による廃校舎

問 東小学校や菱田小学校の校舎や跡地

利用の施策を考え、早急に検討委員会等を立ち上げるべきと思うが。

答 【町長】 統合後の校舎や跡地の利用については平成25年4月から準備委員会を立ち上げて、その中の施設整備、伝統継承部会が作業を行っていく。地域コミュニティの根



幹をなす施設なので施設の跡地等の利用については地域の方々、保護者と町担当部局で組織して、地域にも町にも有効に活用が出来るように、町全体で取り組んでいくと考えている。

保育所統合

問 子どもたちの支援や子育て支援の実をはかり子供を産み

やすい環境を整えるためにも保育所を統合し子ども園にする考えは。

答 【町長】 町の各保育所は約35年前後を経過しており老朽化が著しく維持管理に苦勞している。3保育所を1保育所に統合するという事は認識し考

えている。保育所のあり方について今年度より幼保一体型が、保育園型が、選択し、将来を見据えて検討して行きたいと考えます。

防災災害対策と災害時の備蓄

問 町の防災災害対策を町民の方々に認識してもらうには年1回の避難訓練等を官民一体になり、対策を強化する必要があると思

答 【町長】 防災訓練の必要性は有る、職員、住民が自分のすべきことを認識する上で実施する条件が整う必要がある。実施後に問題点が見えてくるものと考え、現在、町域防災計画の改定に向け作業を進めている。目的を持って訓練に臨めるように、体制整備を務める皆様方のご協力をお願いします。

問 被害時用の備蓄品等を大きな倉庫に充実させる施策をとるべきと思うが。

答 【町長】 小学校の施設の有効利用の観点からと思いますが、非常時の備蓄が今以上に必要かは、国、県の動向を注視し、指針が示された際に必要であれば公共施設の有効活用も含め取り組む。



戸井 沢夫 議員

廃棄物ならびに残土等の適正な保管と処理について

問 芝山町内には何ヶ所の産業廃棄物の保管場所が有るのか。

答 【町長】 県の許可を受けた民間の間処処理施設が1カ所有るが、芝山町にはない。

問 300平方メートル以上の残土のたい積行為の事例は何カ所有ったのか。

答 【町長】 26ヶ所が許可を受けているが、県の残土条例適用外になつてからは9ヶ所。

問 小規模な事業についても適切な保管に向け、事業者を行政指導する考えは有るか。

答 【町長】 事前に相談が有る時は、位置図面、届け出、工期等の記載の提出をするよう指導しているが、条例での対応が難しい判例が多くて、条例改正、規制改正等今後検討する。

農業振興地域制度の運用について

問 農業振興地域ならびに、そのうちの農用地区域の面積について。

答 【町長】 農業振興地域の面積は約4020ha、そのうち農用地は約1300ha、そのうち田が約680ha、畑が約610ha、施設用地約2ha。

問 農振除外手続きについての事務の流れと、申請者への結果の通知までに必要とされる事務処理時間の実態について。

答 【町長】 全体見直しと随時変更があるが、現在は随時変更で行っている。町が受け付けるが、千葉県知事の同意が必要で6ヶ月間を要する。この間、町の農業振興整備促進協議会の審議、そして

県の農地課との調整協議、県農林水産部土地利用対策協議会、芝山町は5月と11月の年2回を予定している。事前審査の承認後、町が30日間の縦覧公告及び15日間の異議申し立ての期間を得て、県へ変更協議を申し出、本申請をすることが出来る。そこで県知事の同意がおりた後、公告となる。

問 事務処理迅速化への取り組みについて。

答 【町長】 今現在も速やかな手続きをしているが、除外に当たっては、農地法の転用許可要件に該当しなければ、ほぼ除外できない。農振除外は非常に難しいので、事前に町担当課に相談してほしい。

児童生徒の学力向上への取り組みについて

問 児童生徒の更なる学力向上のため、行政・教育委員会・保護者のそれぞれが取り組むべき課題は何か。

答 【教育長】 教育委員会は各小中学校に対して、楽しい、わかる授業の実践の指導、助言、外部からの指導、主事を招いての勉強時間の確保、学習習慣の環境の確保で学習意欲を高める。先生方には教材研究、研修会の時間の確保。保護者には継続的な学習の取り組み、学習習慣の定着化、あるいは生活習慣の改善に取り組んでもらう。行政には町での教員の採用、外国語の指導助手、非常勤職員の採用、派遣。

問 学力向上のため、平成25年度に画を持っているのか。

答 【教育長】 複式授業の解消、外国語授業の充実、25年度から3年間、芝山中学校では県からの研究校の指定を受けて学力向上に向けての研究に取り組む。教職員の研修会による指導力のアップ。夏休みの補修授業の実践等を計画。



まちづくり常任委員会質疑

3月13日

促し看板について

問（平山議員） 町道に設置する促し看板に、大型車通行止め等の表示ができるか。

答（地籍建設担当課長） 警察と協議の上、御遠慮ください等は可能になる。

小学校設置条例の一部改正について

問（堀越議員） 統合準備委員会の立上げは。

答（教育課長） 準備委員会の前段は4月頃始めたい。

下水道工事協定の一部変更について

問（川口議員） 今後の工事計画は。

答（都市下水道担当課長） 大台南の復旧工事、朝倉地区の設計等がある。

権利の放棄について

問（平山議員） 給食費収納率は高いと思うが、集金方

法は。

答（教育課長） 口座引落し、その後袋で集金、さらに訪問している。第2

子半額免除制度等により収納率が高いと判断する。

一般会計補正予算について

て

問（岩澤議員） 幼稚園就学奨励費補助金が1/3

に減額されているが。

答（教育課長） 園児数の減少と所得階層の変化があった。

下水道補正予算について

問（川口議員） 公共下水道加入率が低い。

答（都市下水道担当課長） ホームページ等で啓発している。

問（伊藤議員） 合併浄化槽の維持管理補助金は設置補助対象者だけか。

答（都市下水道担当課長） 関係なく年額1万円の対象になる。

総務常任委員会質疑

3月13日

新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

問（木内議員） 指定インフルエンザとは違うのか。

答（福祉保健課長） 予防接種で対応できるインフルエンザ以外のウイルスが発生した場合に、対策本部を設置するための条例制定。

地域振興基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定

問（小嶋議員） 地域振興基金の使い方は。

答（企画政策担当課長） 地域振興及び、排水路・防犯灯の整備など。

福祉センター「やすらぎの里」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

問（麻生議員） 町外利用者等の利便性を考慮し、とあ

るが町外者からの申し込みはあったのか。

答（福祉保健課長） 細かい件数は把握していないが、問い合わせはあった。

問（木内議員） 役場職員は常駐しなくなるのか。

答（福祉保健課長） 今後は社会福祉協議会が職員となり対応する。

るが町外者からの申し込みはあったのか。

答（福祉保健課長） 細かい件数は把握していないが、問い合わせはあった。

問（木内議員） 役場職員は常駐しなくなるのか。

答（福祉保健課長） 今後は社会福祉協議会が職員となり対応する。

問（伊橋議員） 指定管理で利用料の値上げが考えられるが。

答（福祉保健課長） 町外者は50%上乘せしており、町内者は変更していない。町で作った施設なので適切な管理をしていきたい。

介護保険特別会計補正予算

問（小嶋議員） 基金はどれくらいあるのか。

答（福祉保健課長） H24年度末見込みで2962万7千円

問（小嶋議員） 国・県の支出金が減っているようだが。

答（福祉保健課長） 当初の見込みより減った。

予算審査特別委員会質疑

総務関係

3月18日

問（岩澤議員） 公共交通でふれあいバスは増額、あいあいタクシーは減額、理由は何か。

答（企画政策担当課長） 燃料費増を見込んだ。あいあいタクシーは人件費等を見直し減額となった。

問（戸井議員） 三世代同居支援事業はハードルが高く対象にならないケースがあるようだが。

答（企画政策担当課長） 新たな世帯が転入し三世代がそろうことが条件です。

問（戸井議員） 火災時等成田用水を使ってもいいが電気代位は補助できないか。

答（総務課長） 緊急時は使用できることになっているが検討したい。

問（堀越議員） シャトルバ

スを空の駅経由、岩山ドリム道路を通過するルートに変更できないか。

答（町長） 芝山鉄道延伸のための代替バスなので寄り道はできない。

問（小嶋議員） コンビニ交付開始に伴い住基カード普及の予定は。

答（町民税務課長） 四月からPRし無料の方向で実施したい。

問（平山議員） 国保多古中央病院補助金を倍額の2千万円にしたらどうか。

問（岩澤議員） 隣町の町立病院へ補助するより町民が望む公共交通や道路整備に使うべきではないか。

答（町長） 25年度も1千万円。多い少ないは熟慮したい。

まちづくり関係

3月19日

問（石田議員） 浄水器補助金は一般家庭にはあるが営業者にはない。すべてが安心安全の水を飲めるようにしてもらいたい。

答（まちづくり課長） 補助金は一般家庭用ですが、営業用については検討したい。

問（麻生議員） 道路反射鏡、防犯灯の設置箇所は決まっているのか。

答（まちづくり課長） 区長会総会で説明し要望を受付けます。

問（岩澤議員） 火災で使用することもある高田、新井田土地改良区へ電気代補助はできないか。

答（農政振興担当課長） 成田用水は協定済。土地改良区は検討したい。

問（内田議員） 転作報奨金の対象になっている人は。

答（まちづくり課係長）

989人中250人、25%です。

問（木内議員） 総合運動場改修はどの程度行うのか。

答（教育課長） フェンスは部分改修。グラウンドは原因を調査します。

問（岩澤議員） 小学校統合に向けプレハブ校舎を建てるとは。騒音化で子供たちが勉強できる環境か。

答（教育課長） 騒音は心配ない。今後を考えると恒久的だと難しい。

問（戸井議員） 公共下水道で新井田新田はいつから工事に入れるのか。

答（まちづくり課副主幹） はにわ台団地が先の計画になっているので平成30年以降になります。

全員協議会

- 2月20日 圏央道地区説明会は可能か。
カーフェュー説明会のやり方について。
説明会後の検証について。
学童の応募人数は。
南側道路は1日何台走っているのか。
2ビルの機械警備の状況は。
- 3月7日 給食費等の債権の放棄について。
文化センター空調改修補正について。
管理職手当について。
自動車取得税が廃止になるが。
インフルエンザ予防接種の取り組みについて。
オープンスカイ増量割引とは。
- 3月19日 カーフェュー住民説明会を終えて。
7ヶ所での説明会でいろいろな意見が出ましたが、それを踏まえて
全協で意見、要望を協議しました。

拡大空港対策委員会

- 3月14日 カーフェューの弾力的運用の住民説明会を終えて協議しました。

【第1回臨時会】

(2月20日)
芝山町農業委員議会推薦について



西海 雪恵氏



越川 陽子氏

【第1回定例会】

(3月22日)
教育委員会委員の任命について



五木田 正照氏

予算審査特別委員会現地視察(3月14日)



芝山中学校



はにわ台下水処理場



ビックサン(丸朝組合)

街角ひろば

マイブーム

バイク

うちやま
桂助さん
(新井田新田)

新井田新田で、ほうれん草栽培を中心とした農業を経営する内山さんのマイブームはバイクだそうです。

仕事の合間を縫って一人で、時には多くの友達とツーリングを楽しんでいらっしやいます。

現在、彼は消防団、PTA、青少年相談員等々とても多くの団体に所属されており、バイクに乗る時間が中々取れないのが寂しいとのこと。ですが、バイクで飛ばせば、日頃のストレスも一気に吹き飛ばすと語ってくれました。



現在は400ccのバイクを所有されていますが、昨年、念願の大型二輪免許を取得したので、大型バイクを早く購入して、色々な場所を走ってみたいそうです。

また町内の方を中心としたツーリングクラブ『Brisa』のメンバーで、一緒に走る方も大募集中とのこと。夢は北海道かアメリカ大陸か…明日の芝山を背負って立つてであろう彼は仕事にも遊びにも一生懸命さが溢れていました。

フラワーアレンジメント&パワーストーン



さこん
みか
美香さん
(バルールド)

バルールドにお住まいの佐近さんのマイブームはパワーストーン作りとフラワーアレンジメントだそうです。

フラワーアレンジメントはブライダル関係のプロの方にご指導いただき2年前から、パワーストーンは、なんと20年以上前から、制作しているそうです。

どちらともプロ並または、それ以上の腕前らしく、現在はお客様からの注文も入ってくるとのこと。

もはや趣味の域を超えているとも感じました。

一番苦労する点は双方ともに素材選びだそうです。

コストを抑えた中でより良い素材を使い、贈る方々に期待以上の喜びの言葉をいただくことが一番嬉しい瞬間とのこと。

今後はお花とストーンを融合させたブーケ等を手掛けてみたいと更に意欲を見せる彼女でした。ブーケ界の新流はパワーストーンとのコラボレーションかも？です。



主な動き

1月21日	全員協議会	3月12日	芝山中学校卒業式
24日	空港南側道路開通式	15日	各小学校卒業式
2月4日	騒音実体験調査	19日	全員協議会
13日	芝山分署・ジェットスター トレーニングセンター視察	4月8日	芝山中学校入学式
20日	全員協議会 臨時会	9日	各小学校入学式
3月7日	全員協議会	10日	議会だより編集委員会
11日～22日	平成25年第1回 芝山町議会定例会	17日	〃
		19日	全員協議会
		21日	カーフェュー報告会

平成25年 第2回芝山町議会定例会のお知らせ

期日 **6月11日(火)～**
6月14日(金)

多くの方々の傍聴をお待ちしています。

※日程等の詳細は議会事務局へ TEL77-3922

編集後記

「筍」竹に旬と書き夏の季語。春から初夏にかけて自然の生命力の勢いが伝わってくる。タケノコは鮮度が命。原発の事故後大地の恵みは受難が続いている。我町も昨年は放射性物質の検出で出荷停止や風評被害に悩まされる。どんな特産地でもタケノコは掘りたてが一番。安全と安心を祈りたい。

背中より大きくカラフルなランドセルを背負う新一年生や各企業に就職した新人社員達が初めての学校生活や職場に期待を膨らませる一方で、不安も同居させている。新しい環境に飛び込みどうしていいか分からずに戸惑うケースも多いに違いないが、勇気をもって一歩を踏み出すことを勧めたい。

議会だよりも約四半世紀99号と成ります。その間、先輩議員方も活動や思いを余す事なく編集し、作られてきたと思います。現在の編集委員一同も先輩編集委員方に劣らないような理念を持って町民の皆様方に活動や思いを解り易く読んでいただけるような議会だよりを編集していきたいと思えます。

編集委員一同